



地域に根ざし、世界に開く



コラボ通信

第 28 号
2011 年 12 月 1 日

目次

- P.1 報告：CCC 開設 5 周年記念セレモニー
- P.2 企業とボランティア
報告：(株)デンソー ボランティア活動
- P.3 特集：ミサガの輪
先生が大学生だった頃… 小島 祥美 先生
- P.4 学生スタッフ『JICA 中部訪問ツアー報告』

CCC とは…

CCC (コミュニティ・コラボレーションセンター) とは、学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かすものにしていけるようにサポートしています。これまでに、多くの学生が CCC を通して、地域に飛び出し、NPO や市民団体、企業などと連携して共に活動しています。

CCC 開設 5 周年記念セレモニー

10 月 14 日 (金)、星が丘キャンパスにて『CCC5 周年記念セレモニー』が開催されました。行政・企業・NPO / NGO や地域の方々約 150 名にご出席いただき、この 5 年間の活動を振り返りました。人と人の輪がさらに広がり、新たな歩みにつながる記念セレモニーとなりました。



第 1 部 報告会



大学祭実行委員会による活動報告

参加者の声

2008 年度卒業生 文学部 北上 和樹さん

大学祭実行委員会として、僕達の代から始めた「クリーンなグリーン活動」が今の後輩達の思いとも合致し、良い活動だと思ってみんなが継続的にやっていることを知り、言葉にならない思いでした。それが今でも多くの方々のお役に立てるなら、とても幸せなことです。一人一人の清掃活動に対する考え方、地域密着の重要性を考えるきっかけを作れたなら、当時委員長だった浅野も喜ぶと思います。これからも、CCC の活動を応援したいです。イキイキとした後輩達の発表を聞いて元気をもらえました。本当にありがとうございます。

第 2 部 交流会



愛知淑徳学園理事長挨拶



ポスターセッション



学生サークル Free Music によるジャズ演奏



「CCC!」という掛け声で締めくくり

企業とボランティア

CCCでは、様々な企業の社会貢献活動に参加しています。

私は東邦ガス㈱のCSR活動の一つである、子ども達にゲームやクラフトを通して環境保護について考えてもらう活動に参加しています。これまでに企業さんと関わり、社員の方と話したり企画をさせていただきました。真剣に私たち学生の意見を聞いてくださったため、学校ではない緊張感、達成感を味わうことができました。社会人の方に企画を提案できる機会などめったにないと思うので、参加して良かったと思います！

企業と関わる良い機会！社会人の方と一緒に活動できるため、今後にプラスになると思います！興味を持ったら、是非一度参加してみてください！！

CCC学生スタッフ ビジネス学部3年 村井 雄美

ポイントワード★
CSR =
Corporate
Social
Responsibility
企業の
社会的責任



企業の方にプレゼンをしている様子

報告

(株)デンソー「海外支援衣料回収活動ボランティア」

文化創造学部 多元文化専攻3年 山下 留以さん

「みんなが楽しんでいる、ボランティア活動」私がデンソーのボランティアに参加して感じたことです。デンソー社員の方々、デンソーと関わりのある企業の方、また学生など、所属もさまざまである人たちが参加していました。活動内容は、8～9人のグループに分かれ古着を子ども用（冬、その他）、大人用（冬、その他）などにたたんで分け、段ボールに詰めます。グループ分けが事前にされており、所属の違う人同士で組まれていました。ボランティアを通して、学生とのつながりだけでなく、社会やいろいろな人とつながれるチャンスを作ってくれていました。多くの人と関わり、情報や新しいアイデアに触れることができました。そして参加者みんなが楽しく活動を行っていました。とても充実したボランティア活動でした。次はどんな方に出会えるのか、また参加したいと思います。



Letter From Community

株式会社デンソー 総務部 社会貢献推進室 中村 麻紀 様

こんにちは。デンソーの中村です。デンソーは、清掃などの地域貢献活動を行うハートフルデーや海外支援衣料回収活動など、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。そんな活動を一緒に運営し、盛り上げて頂いている大切な存在、それがボランティアスタッフの皆さんです。CCCを通して、毎回淑徳大学の皆さんにもたくさんご参加頂いております。改めまして、ありがとうございます！「1日だけのスタッフだから…」と遠慮してしまうのではなく、社員ともコミュニケーションをとりながら是非積極的に運営に携わって下さいね。（その点、淑徳大学の皆さんは「何か他にも仕事はありますか？」と自分から仕事を探して下さい、とても助けられています！）

これからもデンソーの社会貢献イベントをたくさんご案内させていただきますので、是非ご参加下さい。

今後ともよろしくお願いいたします。

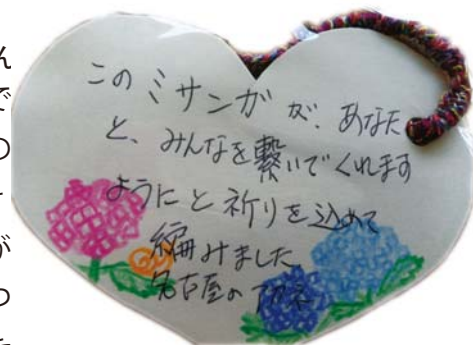




『ミサンの輪』プロジェクト

文化創造学部 多元文化専攻 江口 まきさん

この活動を始めたのは4月で、震災後、募金はできたけれど、もっと近くで支えに、また役に立てないかと強く思っていました。そして、今までのゼミの活動などでいちばん学んだ“人と人とのつながり”で、大きな支援ではないけれど、小さな、でも強く固い絆で皆がつながって手を取りあえるようなことがしたい、という思いが形になったのがミサンガです。そして、同じ思いを持つ仲間へと広がり、1000セット以上のメッセージ付ミサンガができあがりました。



8月2日～8日に、私たち榎田ゼミ生を中心とする8人で大船渡市へ行き、盛町商店街七夕祭りでの活動を中心に、現地での出会いで衣料品の工場の方々や大船渡保育園の子ども達にも、協力して下さった約1000人の皆さんのメッセージとミサンガを手渡すことができ、大船渡でも1000人の方々ともつながりができました。活動後、現地で感じた町を覆う悲しさや町の人が話してくださる津波の話、その中で町の人々の復興に向かう姿や交わした言葉、そして「ありがとう」の言葉をできるだけそのまま伝えようと、活動報告レポートを作り協力者の方々に伝えることで双方向のつながりができました。

活動後商店街の方にいただいた手紙には、「ミサンガをつけた人を街で見かけると元気がでます。」とありました。大船渡とのつながりは私たちにも元気をくれます。この活動でできたつながりをもとに今後も継続的に活動していきたいです。

シリーズ

先生が大学生だった頃… Vol.4 小島 祥美 先生（文学部 教育学科 准教授・CCC運営委員）

小島先生が大学生時代に夢中になったことは何ですか？

なぜだろう？と思ったことを貪欲に吸収したくって、走り続けた思い出ばかりです。長期休暇となれば試験最終日に発って履修登録日に帰国という日程で、中南米地域を中心に旅しました。また時間をみつけては青春18切符や学割をフル活用して、日本文学など書を片手にその舞台巡りの旅もたくさんしました。

ボランティアに夢中になったのも学生時代です。仲間と団体をつくったり、コミュニティビジネスに参画したり。一方で、勉学にも最も熱中した時でもありましたね。留年率が全国一高いと言われるほど進級が厳しい大学でしたので、大学内での思い出は友達と必死に授業予習したことくらいです（笑）。それでも学びたいことがあれば先生にお願いして、単位に関係なく専攻外の講義に出席したり。もっともっと知りたくって、他大学の講義に通ったことも。

こうした学生時代の経験や人との出会いは、現在の私に生き、すべてにおいて繋がっていると感じています。

学生へ一言♪

学生の皆さんには、可能な限り様々なことに挑戦してほしいです。経験からの学びと人との出会いを得ることは、皆さんの人生をきっとより豊かにすることでしょう。なぜなら、私が体感したからです。



大学2年時
ペルー・マチュピチュにて

JICA に行こうツアー

8 月 13 日、夏休みの 1 日を使って、CCC 星が丘学生スタッフ主催で『JICA に行こうツアー』を行いました。



Q: JICA 中部とは…?

開発途上国のさまざまな問題を解決するために、それらの国と中部地域が持つ知識や技術力をつないでいます。

Q: なごや地球ひろばってどんなところ…?

世界の現状やわたしたちにできることを学べる体験ゾーンやフェアトレードショップなど、楽しく世界に触れられる施設です！名古屋駅から徒歩 10 分、ささしまにあります。



Q: どんなことをやったの…?

1. JICA 事業概要説明

2. 世界の「食」から異文化を考えるワークショップ

グループごとに、ある国の家族とその家にある食べ物が写っている写真からその国・宗教について話し合い、その後世界の現状について学びました。

3. JICA 内、エスニックカフェにて昼食

エジプトの給食や多国籍料理、デザートがあり、「食」から異文化を実際に感じることができました。



4. 施設見学・青年海外協力隊体験談

スタッフの方にガイドをしてもらい、JICA 内を見学しました。海外から来た研修員の方ともお話することができました☆

青年海外協力隊（日本の若者が持っている技術・知識を活かして、現地の方とともに生活・協働しながら開発途上国の国づくりに協力）としてシリアに派遣されていた古川さんの体験談をお伺いしました。現地の現状や活動内容等、色々なことをお話いただき、とても勉強になりました。

参加者の感想

JICA の方々はみんなとても視野が広く、生き生きとしていて、お話もワークショップもとても勉強になりました。

また来て、自分の意識を高められる場所に出来たらいいなと思っています！

自分が今できること・これからできること、それをしっかり考え世界の現状から目を背けることなく一歩一歩進んでいきたい！！

主催者感想

より多くの学生に世界の現状を知ってもらい、国際協力を身近に感じてほしいと、このイベントを行いました。参加者の感想を読み、多くのことを学び、楽しんでもらえたことが分かりました。これからも多くの学生が何か学べるような企画をしていきたいです。

CCC 学生スタッフ 交流文化 2 年 臼井早紀

コラボ通信デザイン:

CCC 学生スタッフ 文化創造学部表現文化専攻 4 年 宮西真以

	長久手キャンパス	星が丘キャンパス
利用時間	9:00~18:30 (授業日以外 9:00~17:00)	
場所	アクティブラーニングスタジオ内	5 号館 1 階
連絡先	0561-62-4111	052-781-1151
E-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	